

## 会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 1 - 5 2	令和6年度第1回墨田区バリアフリー推進協議会		
開催日時	令和6年8月5日(月)午後2時から午後3時30分まで			
開催場所	すみだリバーサイドホール イベントホール			
委員名簿	出席委員(24名)			
		氏名	所属	出欠
	1	山田 稔	茨城大学名誉教授	出席
	2	正能 俊輔	東日本旅客鉄道株式会社 企画総務部企画部長	出席
	3	小瀧 正和	東武鉄道株式会社 鉄道事業本部事業戦略部課長	出席
	4	土屋 稿治	京成電鉄株式会社 計画管理部鉄道企画担当課長	出席
	5	廣元 勝志	東京地下鉄株式会社 鉄道本部 鉄道統括部 移動円滑化設備整備促進担当課長	代理出席
	6	近藤 琢哉	東京都交通局 東京都交通局総務部技術調整担当課長	代理出席
	7	内山 琢矢	東京都交通局 東京都交通局自動車部事業改善担当課長	出席
	8	三浦 裕樹	京成バス株式会社 取締役営業部長	出席
	9	船越 浩司	京成タウンバス株式会社 営業部業務課課長補佐	出席
	10	小池 毅	一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会業務部長	出席
	11	菊池 信久	国土交通省東京国道事務所 関東地方整備局交通対策課建設専門官	出席
	12	徳差 宣	東京都建設局 第五建設事務所補修課長	出席
	13	吉武 順子	本所警察署交通課長	出席
	14	石郷岡 亮	向島警察署交通課長	出席
	15	伊藤 林	墨田区町会・自治会連合会副会長	出席
	16	星野 喜生	墨田区老人クラブ連合会会長	出席
	17	菊池 昌子	墨田区障害者団体連合副会長	出席
	18	井上 佳洋	墨田区商店街連合会事務局長	出席
	19	平井 靖範	国土交通省関東運輸局 交通政策部バリアフリー推進課長	出席
	20	武山 信幸	東京都都市整備局 都市基盤部交通政策担当課長	欠席
	21	浮田 康宏	福祉保健部長	出席
	22	酒井 敏春	子ども・子育て支援部長	出席
	23	久井 隆司	都市計画部長	出席
	24	武井 勝人	都市計画部参事	出席
	25	天海 晴彦	都市整備部長	出席
	26	江波戸 史恭	都市整備部参事	出席
	27	宮本 知明	立体化・まちづくり推進担当部長	出席
<b>【事務局】</b> ・厚生課長 若菜 進 ・厚生課 大島、山本、柴田、登坂 ・株式会社創建(委託事業者) 齊藤、根岸				

<p>会議の公開 (傍聴)</p>	<p>公開(傍聴できる)</p>	<p>傍聴者数</p>	<p>0人</p>
<p>議 題</p>	<p><b>【報告事項】</b>  (1) (仮称)墨田区移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想の策定について  <b>【協議事項】</b>  (1) 地区別の評価について  (2) 住民参加と意見反映のための事業について</p>		
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 委員名簿</li> <li>・ (仮称)墨田区移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想の策定について(資料1)</li> <li>・ 策定スケジュール(資料2)</li> <li>・ 地区別の評価について(資料3)</li> <li>・ 住民参加と意見反映のための事業について(資料4-1)</li> <li>・ アンケート調査票(案)(資料4-2)</li> <li>・ 墨田区バリアフリー推進協議会に関する要綱</li> </ul>		
<p>会議概要</p>			
<p>1 会長及び副会長の選出  墨田区バリアフリー推進協議会に関する要綱第2条第2項に基づき、会長は山田委員、副会長は浮田委員に決定した。</p> <p>2 議事  <b>【報告事項】</b>  (1) (仮称)墨田区移動等円滑化促進方針及びバリアフリー基本構想の策定について  事務局より資料1及び資料2を説明</p> <p><b>【委員からの意見】</b></p> <p>○星野委員  資料1の5ページ、重点整備地区と優先整備地区の違いについて、教えていただきたい。</p> <p>○山田会長  平成16年に策定した交通バリアフリー基本構想で定めているもので、重点整備地区は直近10年程度で進める事業を定める地区、優先整備地区は具体的な整備スケジュールは定めのないものの優先的に事業を行うとして区独自で設定した地区を指す。本協議会では、新たに重点整備地区を検討していくことになる。  資料1の7ページで、鉄道事業におけるバリアフリー整備は既に進んでいるのが分かるが、職員研修や窓口対応、バリアフリースイールの使いやすくするような取組といったソフト面の取組みも行っていると思うので、事務局で整理していただきたい。</p> <p>○事務局  様々な形で資料を提示出来ればよいと思うので、鉄道事業者にも協力をいただき、情報収集をしていく。</p> <p>○山田会長  鉄道事業者としてもバリアフリーへの取組をアピールする機会になるので、ぜひご協力いただきたい。</p>			

○菊池委員

プライベートで、ユニバーサルシートを日本中に広げる取組みを行っている。鉄道駅でバリアフリートイレの整備が進んでいるが、ユニバーサルシートが設置されている駅は非常に少ない。ユニバーサルシートは、おむつ替え等、多くの方が利用でき便利であるため、墨田区でも広めてほしい。

○山田会長

具体的な事業内容の検討については、区内の状況を調べるところから始める必要がある。鉄道事業者としては、全駅に設置は難しいと思うが、どのように進めていくか検討する必要がある。また、バリアフリートイレは鉄道だけでなく、公園や道路、建築物等の特定事業でも関連する項目のため、本協議会で議論していけるとよい。

○事務局

まずは、区内のバリアフリー化の状況や計画の情報を収集する必要があると考えている。ユニバーサルシートの導入を特定事業計画に入れるとは現時点では明言できないが、委員の皆様へ情報を共有し、今後協議をしていただきたい。

【協議事項】

(1) 地区別の評価について

事務局より資料3を説明

○山田会長

アンケートの設問について、働いている方、高齢者、障害者など属性によって満足度が違うと思うが、どの程度まで属性別での集計を考えているか。

○事務局

アンケートの詳しい内容については、次の協議事項で説明する。集計・活用方法については、施設別の満足度を回答いただき、それを地区別の評価に活用することを考えている。また、個別の施設に対する意見や心のバリアフリーの取組み状況は、基本構想の方針や具体的な事業の検討に活用することを考えている。

○山田会長

障害当事者からの特別なニーズは把握できないと思うので、まずは区民全体の意向を把握し、地区別の評価や個別の指摘について議論していくと理解した。  
区内を俯瞰して、地区別の評価の考え方に意見はあるか。

○伊藤委員

横網・石原連合町会では、街並みを良くするための勉強会を今年から始めたところである。まちづくり構想のようなものを作っても、法的効力がないという意見もあるが、まちづくりを進めていくうえで配慮すべき事項があれば教えていただきたい。障害者の意見を取り入れていくことは必要と感じている。

○武井委員

墨田区では、平成20年度に墨田区景観条例、平成21年度に景観計画を策定し、墨田区にふさわしい景観、街並みを誘導している。また、地域が主体となるまちづくりでは墨田区まちづくり条例に基づく、まちづくり団体の結成により、まちづくりのアドバイザー派遣などの支援制度がある。本協議会では、区全体のバリアフリーを考えていただくが、特定のエリアで検討する場合は、こうした制度の活用も考えられる。

○伊藤委員

ハートビル法について教えていただきたい。

○山田会長

ハートビル法は過去に制定されていた法律で、建築物のバリアフリー化を義務付ける法律である。バリアフリー法の制定に伴い、交通バリアフリー法とハートビル法が一本化された。

(2) 住民参加と意見反映のための事業について

事務局より資料4 - 1及び4 - 2を説明

○菊池委員

障害者といっても、障害の種類によって色々な困りごとがある。例えば、車いす利用者は歩道に段差がないのが良いが、白杖利用者は歩車道境界に5cmほどの段差があるほうが良く、すり合わせが難しい。

岐阜県からユニバーサルシートについて相談をいただいた際に、岐阜大学の学生とユニバーサルピクニックというイベントを実施した。参加した学生が、ユニバーサルシートの必要性を認識し、自主的に県内のユニバーサルシートのマップを作成し、県議会に提出したことで、アプリ作成の協議会が立ち上がると報告を受けた。墨田区にも大学があるため、学生とも協力して検討を進めていけるとよい。

山田会長

バリアフリーの取組みのツールの一つとして、アプリが使われることも増えている。どのようなツールが良いのかも含め、多様な方にまち歩き点検に協力いただけるとよい。

○事務局

まち歩き点検では、関係団体等から参加者を募り、様々なご意見をいただきたいと考えている。具体的な実施方法については、引き続き関係団体等と調整しながら検討していきたい。

○井上委員

商店街の立場では、バリアフリーに関する知識のない店舗が多いため、勉強していきたい。また、限られた面積の店舗が多く、商店街としてどのようなことができるか、協議会やヒアリングを通して意見交換していきたい。

○事務局

建物の規模が様々のため、法的に備えるべきバリアフリー設備や何に取り組みればよいかなど、バリアフリー基本構想等やその他の方法で提示できるよう検討していきたい。

○近藤委員（代理出席）

次回の協議会は2月頃の予定となっているが、事業者側のスケジュールについて教えていただきたい。

○事務局

次回の協議会までに、鉄道事業者に対しては必要に応じてヒアリングや資料提供の依頼をさせていただく。資料2のスケジュールは、現時点の想定であり、協議会やまち歩き点検の実施時期は検討中である。

特に、重点整備地区の設定にあたり、各事業者の整備計画と不整合にならないよう、事前の調整などを慎重に行いたいと考えている。

次回の協議会では、重点整備地区の候補を示し、協議していただきたいと考えている。

○近藤委員（代理出席）

無作為抽出のアンケートは、回答者の居住地によって地区の偏りができる可能性があるのではないかと。

○事務局

無作為抽出のアンケートは、人口に応じて、区を南北に分けて抽出している。回答に偏りが生じないように、抽出・分析を工夫する。

○星野委員

駅のホームドアについて、乗降客数駅が多い駅が優先して整備されると思うが、どのように計画しているか教えていただきたい。

また、海外のバリアフリーの取組み事例があれば、参考に教えていただけるとよい。

山田会長

海外事例については、事務局で情報収集していただきたい。海外といっても、アメリカとヨーロッパでは状況が異なることや、日本では2020東京オリンピック・パラリンピックに向けてバリアフリーの基準も変化したため、これらを達成していくことも世界水準に到達する近道ではないかと。

○事務局

様々なご意見をいただき感謝する。ホームドアの状況等については、時間の都合上、次回の協議会で整理して提示させていただく。

○平井委員

バリアフリーは、終わりが無い取組みと考えている。駅、関連施設、商店街等、それぞれ規模が異なることから、まち歩き点検などを通して、事業者だけでなく、区民がどのように生活していきたいのか、意向を取り入れてバリアフリー基本構想等を検討していけるとよい。

浮田副会長

本日は、各委員の立場から様々なご意見をいただき感謝する。事務局でも引き続き調査検討を進めていく必要があるが、皆様にもご協力をいただきながら進めていきたい。

3 閉会

○事務局

後日意見のある方は、8月26日（月）までに事務局へメール等で連絡をいただきたい。また、第2回協議会は、本日の意見やアンケート等の結果をまとめ、具体的な重点整備地区の設定案を提示し、議論していただくことを考えている。今後、まち歩き点検や団体ヒアリング等を進めるにあたり、委員の皆様にご依頼する機会があるため、引き続きご協力をお願いしたい。

山田会長

以上で、第1回墨田区バリアフリー推進協議会を閉会とする。

会議の概要は、以上である。